

オケラ

Atractylodes ovata (Thunb.) DC.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では数箇所に点在するのみで、生育数も少ない。

分 布

大野市、あわら市、越前町、鯖江市、敦賀市、美浜町、おおい町。国内では本州、四国、九州に分布する。

種の特徴

山地のやや乾いた草原に生える。茎の高さ 30～80 cm、上部で分岐。葉は長柄があって楕円形～倒披針形、ときに羽裂する。秋に茎頂に白頭花をつけ、淡紅白花もある。総苞は鐘形、苞片は 7～8 列、外片は短い。総苞の外部には魚骨状の苞葉がある。

生育を脅かす要因

里山植物の代表的なものであるが、環境の開発、また食用・薬用等に採取されて、減少している。

参考文献 福井県植物研究会 (1998)、佐竹義輔ほか (1981)、林弥栄・平野隆久 (2013)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○	○		○	○						○	○		○	

ミヤマコウゾリナ

Hieracium japonicum Franch. et Sav.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では生育地・生育数ともに少ない。

分 布

大野市。国内では本州の中部以西と四国の高山に分布する。

種の特徴

コウゾリナの名前がついているが、属はヤナギタンポポ属。カンチコウゾリナに比して全体に軟らかく、剛毛の色も白っぽい。茎や花序には剛毛の他に白短毛が密生する。日本固有種。

生育を脅かす要因

山道の整備と破壊、植生の遷移。

参考文献 福井県植物研究会 (1997)、清水建美ほか (2014)、加藤雅啓・海老原淳 (2011)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

カセンソウ

Inula salicina L. var. *asiatica* Kitam.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

湿地の開発、圃場整備等により生育数が減少。

分 布

あわら市、福井市、敦賀市、美浜町、若狭町、おおい町、高浜町。国内では北海道～九州に分布する。

種の特徴

日向の湿地や圃場の周辺に生える。茎の高さは 50～80 cm、上部で枝分かれする。葉は長楕円状披針形、長さ 5～8 cm、柄はない。茎の先に径 4 cm ほどの黄花をつける。頭花は外側に舌状花、内側に筒状花が多数ある。総苞は半球形、苞片は 4 列、広披針形で縁毛がある。

生育を脅かす要因

自然環境の変化、湿地の減少、園芸用採取等。

参考文献 福井県植物研究会 (1998)、佐竹義輔ほか (1981)、林弥栄・平野隆久 (2013)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○					○		○				○